

冷酷!非情!残虐!史上最強《悪》のヒーロー!!



アーノルド・シュワルツェネッガー

# ターミネーター

THE TERMINATOR

ヘムデール作品/パシフィック・ウェスタン・プロダクション=ジェームス・キャメロン・フィルム/アーノルド・シュワルツェネッガー主演「ターミネーター」

マイケル・ベーン  
リンダ・ハミルトン  
ポール・ウィンフィールド  
特殊メイクアップ効果スタン・ウィンストン  
製作総指揮ジョン・デリリー  
&デレク・ギブソン  
脚本ジェームス・キャメロン  
&ゲイル・アン・ハード  
製作ゲイル・アン・ハード  
監督ジェームス・キャメロン  
デラックスカラー  
オライオン映画作品

AN ORION PICTURES RELEASE

●オリジナル・サウンドトラック/ビクター・レコード  
●小説:講談社X文庫刊

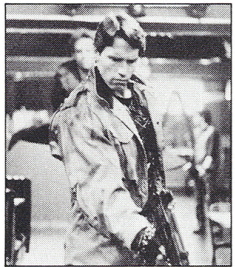


# 凄い!面白い!この《悪》この強さ!この見せ場

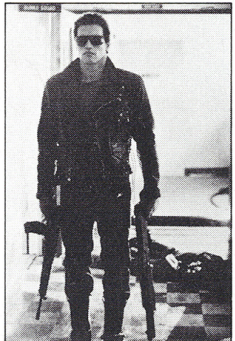
# ターミネーター



必中の照準システム  
レーザー・サイトと  
AMTハードボウラ  
ー・ロング・スライ  
ド・モデル(45口径)  
を組み合わせた最新鋭  
の豪銃。



ウージー・その性能  
の良さと扱いやすさ  
で現代最高のサブ・  
マシンガン。



左: AR18: 米軍の  
自動小銃M16を全て  
の面で改良したもの  
右: スパス・ライア  
ット・ショットガン  
ボタン一つで自動と  
手動の切り替えがで  
きる。イタリア・フ  
ランキ社製。



イサカ・ショットガン  
西部開拓時代から名  
銃を送り続けたイサ  
カ社製。

唸りをあげる最新鋭ガン!そして壮烈な銃撃戦!これでもほんの一部に過ぎない!

## ●かいせつ

2029年の未来から現代のロサンゼルスへ特命をおびてやって来た恐るべき殺人ハンター。いたるところを冷酷非常な破壊と殺りくの修羅場と化し、全人類を恐怖のどん底に引きずり込んで行く……。

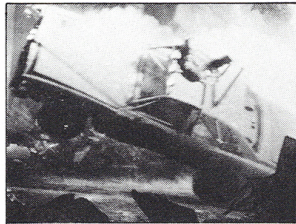
この映画は、全人類絶滅の凄絶な死闘をド迫力の映像で描いたハードなSFバイオレンス・アクション超大作。想像を絶するスピーディなストーリー展開に、猛烈なカー・アクションはもちろんのこと、激しい銃撃戦、ドギモ抜くダイナマイク戦、それに恐怖と暴力をたっぷり盛り込んで、言わば「ブレードランナー」のスリリングなSF感覚と「マッドマックス」のエキサイティングなバイオレンス感覚をあわせ持つ面白さ満点の娯楽大作である。

最大の話題は、新しいダーティヒーローの誕生だ。使命のためには問答無用でつきからつぎへと邪魔者を一掃して行く極悪非道のヒーローもアクション映画ならではのことで、現代社会のうっとうしさを吹き飛ばしてくれるスカッと爽快このうえなき魅力的なヒーローなのだ。

主演は、アーノルド・シュワルツェネッガー。「コナン・ザ・グレート」「キングオブ・デストロイヤー」など大型アクション映画で善良なヒーローを演じ続けてきた人気スターだが、従来のヒーローのイメージに物足りなくなり、イメージを一新して今回この新しいダーティヒーロー像を生み出し、「ダーティハリー」のクリント・イーストウッド、「マッドマックス」のメル・ギブソンのあとを継ぐ80年代の新しいヒーロー・スターとして注目を集めている。

共演は、「影の私刑」で異常な性格演技を見せて人気急上昇のマイケル・ビーン、日本未公開の「TAG・殺人ゲーム」で脚光を浴びた新星リンダ・ハミルトン、「スター・トレック2」のベテラン女優、ポール・ウィンフィールド、「未知との遭遇」「ライト・スタッフ」の凄演技で知られる名俳優のランス・ヘンリクセンなど。監督は、新鋭ジェームズ・キャメロンが、自ら製作者のゲイル・アン・ハードと共同で執筆した脚本をもとに、SFX界の最精鋭スタッフを結集し見事な映像を見せている。

## 全篇をブチ抜く カー・アクション



《激突!》《マッドマックス》  
に続き1985年(第13回)  
アボリアッツ  
国際ファンタスティック映画祭  
グランプリ受賞!

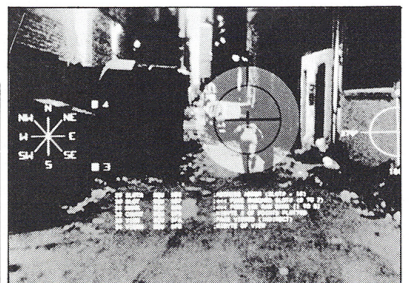
## ●ストーリー

1984年、夜のロサンゼルス。すさまじい閃光と耳をつんざくような轟音とともに、ターミネーター(アーノルド・シュワルツェネッガー)が姿を現わした。2029年の未来から恐るべき任務をおびてやって来た殺し屋だった。ターミネーターの任務とは、サラ・コナー(リンダ・ハミルトン)という若い女性の生命を奪うことだった。サラは未来社会の運命をにぎっていた。彼女が生きていると、2029年の世界に重大な力をおよぼすからである。

ターミネーターと同時に、やはり2029年の未来から、カイル・リース(マイケル・ビーン)という若いゲリラの戦士がやって来た。カイルの目的は、ターミネーターの残忍な魔手からサラの生命を守ることだった。ターミネーターとカイルは、ともに先をあらそってサラの姿を探し求めた。

凄絶な破壊と残酷な殺りくをかさねながらターミネーターは刻一刻とサラの身にちかづいた。そして、ついにナイトクラブの人ごみのなかにサラの姿を見つけたとき、カイルもかけつけ、2人の激しい銃撃戦となった。ターミネーターはカイルにショットガンの銃弾をぶちこまれたが、いっこうに動じるところなく不死身だった。彼は血も涙もないスーパー・アーマーだったのだ……。

まだまだ! 本当の魅力は映画の中にある!!



# 次回ロードショー!

特別ご鑑賞券絶賛発売中!!

一般1200円/学生1100円(当一般¥1500の処 日学生¥1300の処)

オリジナルポスター付

国電・地下鉄 関内駅・馬車道通り

横浜東宝シネマ2 045 (681) 7410

●上映時間は新聞・情報誌等の映画案内欄をご覧ください。